

宇城っ子うきうきイングリッシュ



～今回の特集～

- ◇ 授業風景「青海小学校4年」What time is it ?
担任とALTが協力して授業を行っています！
1年生から英語を勉強しているので少しずつ慣れてきました！

～お知らせ～

- ◇ 宇城市各小学校は「英語」の授業の様子を、各小学校ホームページで紹介していきます！是非、地域の子どもの様子をご覧ください！

今回は、英語の授業に対する児童の意識を調査し、その結果をグラフ化したり、傾向を分析し、各小学校のホームページで公開しています！

宇城市では、国際理解教育の一環として平成21年度より「教育課程特例校」として「小学校英会話科」(うきうきイングリッシュ)を継続実施することで、21世紀の国際社会に貢献し、持続可能な社会の担い手となる児童の育成に取り組んでいます。また、「豊かな人間性」「かかわり・つながりを尊重する態度」を育むために、国際交流事業として中学生の「海外視察研修」を継続実施しているところです。

その間、授業交流を通しながら小・小連携、小・中連携に視点を置き、小学校学級担任はもとより、英会話講師(今年度よりALT)との授業実践の向上に努めてきました。

これまで、それらの取り組みの様子は、学校便りや学級通信等による保護者への発信が主でしたが、今年度より家庭だけでなく地域の理解を得るために、宇城市13小学校では英語の授業の様子や、児童の英語学習に対する意識調査の結果等を各学校の「ホームページ」に掲載することとしました。そして、小学校6年間の英語の学習を、中学校外国語(英語)の学習にしっかりつないでいきたいと考えています。

グローバル化時代を生き抜く人材育成のため、学校教育での重要な基盤づくりとしての「教育特例校」の教育実践を、市民の皆様積極的に発信していきたいと思っておりますので、今後ともご理解・ご支援の程よろしく願いいたします。

令和2年9月

宇城市教育委員会

教育長 平岡 和徳

～特集～

令和2年9月1日（火）

授業風景「青海小学校4年」What time is it ?



この学習は、『What time is it ?』 『It's 10 a.m.』 『It's "Study Time"』 『I like English』や『What time is it ?』 『It's 12 p.m.』 『It's "Lunch Time"』 『I love school lunch』などと、時刻や生活時間の言い方や尋ね方を知り、自分の好きな時間について尋ねたり、答えたりして伝え合うことを目標としています。

写真の場面は、担任の中山先生とALTのシャバーン先生が、手本となる演技(デモンストレーション)を児童の前で披露し、それを受けて子供同士で交流のやり方に挑戦しているところです。これによって見通しを持った子供たちは、教室いっぱい動き回りながらたくさんの友達と交流し、次第に英語に慣れ親しんでいく様子が見られました。この様な英語の活動を通して、これまで知らなかった友達の新しい一面に出会ったり、より仲良くなるきっかけになったかも知れません。

そして、担任の中山先生は、授業を組み立てる中でALTのシャバーン先生とアイコンタクトや身振り・手振りを交えながら児童目線でコミュニケーションを図ろうとされていました。その先生の姿はきっと、子供たちに人と進んで関わることの大事さを伝える一番身近なモデルになっていくことでしょう。

文責:教育総務課 学校教育審議員 長谷 哲也

- ◇ 各学校の『児童の英語に対する意識調査結果から』、宇城市の子供たちの傾向を整理してみました！ (○成果 ▲課題と課題に対する対応)

Q 1 外国語（英語）の授業は楽しいですか？

- 宇城市全体として、約9割の児童が「とても楽しい」「楽しい」と答えており、外国語（英語）の授業を楽しみにしています。
- ▲ 学年が上がるにつれて「とても楽しい」が減少している傾向があります。これは、2020年度から3・4年生が「外国語活動」として必須化、5・6年生が「外国語科」と教科になり、これまでの外国語に慣れ親しむという意識から、他の教科と同じように「学習として分かりたい」が、『できない』『分からない』など難しいと感じているのかも知れません。特に5・6年生は英語が教科化になり、英語を読んだり、書いたりすることを難しく感じていると思われます。
そこで、英語を読む機会を増やしたり、リズム的に楽しく書く場面を取り入れたり工夫して取り組んでいきたいと思えます。

Q 2 どんな活動が楽しいですか？

- ゲームだけでなく、友達と英語を使って話すことや新しい英語を覚えることなどに興味・関心が高い傾向にあります。
- ▲ 英語の絵本やお話の比率が低い傾向にあります。宇城市では、デジタル教材を活用できるICT環境が充実してきたので、ICTを活用した絵本の読み聞かせや歌やダンス等を積極的に取り入れていきたいと思えます。

Q 3 英語を使って友達と楽しむことができますか？

- 約90%の児童が英語を使ってコミュニケーションを楽しむことができます。このことは、コミュニケーション能力の素地となる資質・能力を育成することを目標としている小学校外国語の趣旨を達成していると言えるでしょう。

Q 4 英語を使って外国の人と話してみたいですか？

- ▲ 約7割程度の児童が「外国の人と話してみたい」と概ね良好ですが、一方、そう思わない児童も3割近くいることも注視する必要があります。現在、宇城市の各小学校では、担任とALTが二人体制で授業を行い、児童とALTと関わる機会も増えてきているので、今後、より外国の人と話してみたいという関心・意欲が高まっていくことを期待しているところです。

<保護者・学校関係者の声です！>

- 今後も英語の授業の参観があれば、ありがたいです！
- 子供が外国語（英語）の授業を楽しみにしているようです！
- 早い時期（1年生）から英語を学ぶことができるのは良いことだと思います！